

奈良県立大学 現代アート展

わたし展

線をほどこいて「みる」



会期：2023年11月26日（日）-12月3日（日）

13時～17時、入場無料

会場：奈良県立大学内 各所（受付：地域交流棟 1F）

Web サイト <https://kazama-lab.com/seikaten/>

企画：奈良県立大学 地域創造学部 風間ゼミ

助成：2023年度奈良県立大学学生グループ研究助成



▲Web サイト

奈良県立大学地域創造学部風間ゼミは、現代アート展「わたす展—線をほどいて『みる』—」を開催します。芸術に関わることに興味をもつゼミ生13人が、それぞれの研究テーマを現代アートに落とし込み、作品制作やイベントを行う展覧会です。

今の世の中は、個人が持つ複雑な感覚や、混沌とした社会など、様々な思考の線が編みこまれているのではないかと考えています。その中には、凝り固まったステレオタイプが絡まっていたり、肥大化し核が見えなくなった物語が混じっていたりします。また、私たちが見ている世界にも曖昧な境界線があり、それらは人や状況によって異なっています。私たちの知らない場所で、知らない誰かが、知らない喜びや苦しみを抱えているはずです。

そこで、絡まり合った線をいちど丁寧にほぐすことに挑もうと思い、この展覧会を企画しました。ほどけた小さな物語たちをじっくり見つめ、編み直していくことで、今より柔らかく、広く、物事を考えられるかもしれません。さらに展覧会というかたちで私たちの考えを示すことで、これまでの芸術のあり方の先を見たい、より新しくより近い距離で芸術に触れたいと考えています。

あなたに私たちの表現をわたし、一緒に考えること、そして少しでも編み直された線たちを未来にわたすことができればと願っています。

展示

- 「シンギュラリティ」 鈴木智萌奈
- 「みんなでつくるインクルージョンタウン」 神園悦乃
- 「魔法少女_虚構と現実の交差」 中尾ねね
- 「触れて『みる』聴いて『みる』」 中山亜姫
- 「M1でウケるボケとは？」 原田龍之介
- 「展覧会の回遊を促す仕掛け」 内田わか葉
- 「言葉から表現をさがす」 佐藤利香
- 「一切の表現の自由 #2 一見えない制度」 鈴木千尋
- 「セイヨウビジュツ感 show!!-キャプションどこどこ-」
竹中寧音
- 「ドラッグクイーンへさらに歩む」 原佳音
- 「私のびじゅつかん」 宮川莉奈
- 「いつかの停留所」 吉田珠世麗

ワークショップ

- 「親演 -「演じる」を親しむワークショップ」 小林良駿
 - 気軽に演劇に触れることを目的としたワークショップです。
11/26 (日) 13:30~16:30、12/3 (日) 11:30~15:00
- 「もっとじっくりセイヨウビジュツ感 show!!」 竹中寧音
 - 観て、考えて、話して、聴いて、絵画のオリジナルストーリーをつくります。
12/1 (金) 14:40~15:40
- 「おいでよ快樂の園」 竹中寧音
 - ヒエロニムス・ボス「快樂の園」の住民と仲良くなり、住んでみます。
11/28 (火) 14:40~15:40、12/3 (日) 15:30~16:30
- 「言葉から表現をさがす」 佐藤利香
 - 言葉を編み出すワークショップから、表現について考えます。
11/28 (火) 13:00~14:30、12/1 (金) 13:00~14:30
12/2 (土) 14:00~15:30

展示やワークショップの 会場や日時など詳細は Web サイトへ



※イベントの日時や内容は変更することがあります。最新情報および会場などの詳細は Web サイトをご確認ください。

※今後の新型コロナウイルス感染症やその他の状況によっては、イベントを中止、または内容を変更する場合があります。

▲Web サイト <https://kazama-lab.com/seikaten/>

お問合せ

奈良県立大学 地域創造学部 風間ゼミ
E-Mail : st33086@narapu.ac.jp (中尾)

アクセス

奈良県立大学 奈良市船橋町10番地
JR奈良駅(東口)・近鉄奈良駅(7番出口)より徒歩約10分

